大阪コミュニティ財団助成事業

移動教室型「ふくしま被災地スタディ・ツアー」

見る・知る・考える「福島のいま」

濃密な講義（車内）と現地視察で「ほんとうの福島の今」を実感しませんか

「風化と風評」の2つの風に翻弄される福島。地震・津波とは異なる原子力災害特有の被災の実態を理解するのは簡単ではありません。事故のとき福島の地域社会でどんなことが起こったか。放射能をめぐってどのように「人心の分断」が生まれ、今日もなお続いているか。避難地域はこれからどうなるのか。自治体は存続できるのか。避難している人々はどんな選択を迫られているか…さまざまな問題を移動の車中で講義し、質疑応答、意見交換を行います。

視察日程

※2回行います。どちらかを選んでお申込みください。

第1回　10月14日（金）

8:30　福島駅西口出発

飯舘村役場ヒアリング
［飯舘村の復興に向けた取組を知る］

浪江駅周辺を視察
［地震被害がそのまま残る居住制限区域を見る］

国道6号線帰還困難区域を縦断
楢葉町ヒアリング
［役場職員から避難者の状況などを聞く］

日本原子力研究開発機構：
遠隔技術開発センター見学
［廃炉技術を原寸大で知る］

19:30　高速道路経由で福島駅帰着

第2回　11月12日（土）

8:30　福島駅西口出発
飯舘村経由で南相馬市へ

NPO法人「野馬土」代表
三浦広志氏の話を聞く
［小高地区の将来を考える］

国道6号線帰還困難区域を縦断
富岡町夜ノ森・富岡二中周辺視察
［バリケードで分断された地域を見る］

木戸川漁業協同組合を訪問
［サケ漁の被害と復活の道を聞く］

楢葉町宝鏡寺を訪問
［早川篤雄住職の話を聞く］

19:30　高速道路経由で福島駅帰着

※事情により一部スケジュールの変更が生じる可能性があります。

農地除染後の一時保管（飯舘村）

三浦広志さん

バリケードで封鎖されている
帰還困難区域（国道6号線）

分断された夜ノ森の桜並木

遠隔技術開発センター

講　師　清水　修二

1948年東京都生まれ。1980年福島大学に赴任。学部長、副学長等を経て現在同大学特任教授。専門は財政学。チェルノブイリ事故被災地を5回訪問。

震災後の著書　『原発になお地域の未来を託せるか』
『原発とは結局なんだったのかーいま福島で生きる意味』
『東北発災害復興学入門』(共著)
『福島再生－その希望と可能性』(共著)
『放射線被曝の理科・社会』(共著)　ほか。

参加者募集対象

原発事故の被害を憂い福島の復興を願う方であればどなたでもご参加いただけます。ただしバスの乗車定員の関係上、**各回40名**の参加枠を設けさせていただきます。員数超過の場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。

参　加　費

1,000円(昼食代は別途実費で申し受けます。)

申し込み方法

郵送の場合　下記申し込みフォーマットにご記入の上、「**ふくしまNPOネットワークセンター　〒960-8068　福島市太田町12-30　マルベリービル6F**」までお送りください。

Faxの場合　下記フォーマットにご記入の上、「**024-572-7931**」までお送りください。

E-mailの場合　①氏名　②年齢　③職業　④住所　⑤電話番号　⑥Fax　⑦メールアドレス　⑧希望する日程(どちらでも可能な方は優先順位も)をご記入の上、「**center@f-npo.jp**」までお送りください。

申し込み期限　**2016年9月30日**

申し込みフォーマット

氏　名		年齢	歳	職業	
住　所	〒　　－				
電話番号		Fax			
メールアドレス					
希望する日程	**丸を付けてください**　○ 第1回　○ 第2回 ※どちらでも可能な方は優先順位(第1位順位◎、第2順位○)をつけてください。				

認定特定非営利活動法人
ふくしまNPOネットワークセンター
〒960-8068　福島市太田町12-30　マルベリービル6F
Tel 024-572-7930　Fax 024-572-7931　E-mail center@f-npo.jp